

夕張市長

なおみち

すずき 直道

号外

発行所 / 鈴木直道後援会
〒068-0536 夕張市南清水沢4丁目 28



鈴木市長 計画の抜本見直し要請 政府決断！

3月7日、鈴木市長は高橋知事と面会。第三者委員会からの報告書※（以下「報告書」という。）を手渡すとともに「財政再建と地域再生の両立が可能となるよう、現計画の抜本的な見直し」を国へ求めることについて理解と協力を求めました。

これに対し、高橋知事は「共闘して国にあたっていきたい」と応じました。

その後、鈴木市長は上京し、総務省において高市総務大臣と面会。

報告書を手渡すとともに「夕張は破綻10年の節目を迎えた。財政再建最優先から、財政再建と地域再生の両立が可能となるよう新たな段階へ移行したい。そのための政治決断を」と要請しました。

8日、鈴木市長の要請を受けた高市総務大臣は、閣議後の記者会見において「しっかり応援したい」と述べ、現計画の抜本見直しに応じる判断を正式に表明しました。

高市総務大臣の政治決断を受け、鈴木市長は首相官邸において菅官房長官と会談。「管轄官庁である総務省のみならず政府として現計画の抜本見直しについて応援いた

だきたい」と要請しました。

鈴木市長の要請を受けた菅官房長官は、その日の記者会見において「財政再建一辺倒から今後は地域再生や人口減少への取り組みとの両立をという新たな段階へ移行するべきであるというこのことは大変重要であると政府は考えている」とし「夕張市を政府としてしっかりと支えたい」と政府として正式に表明しました。

さらに、高市総務大臣および菅官房長官の



発言を受け、鈴木市長は石破地方創生担当大臣と面会。地方創生の取り組みと新たにはじまる企業版ふるさと納税に対する協力

等を求め、今後、連携を強化し、取り組みを進める旨の回答を得ることができました。

今後は、夏に予定されている三者協議に向けて「市民がまちの未来に希望を持てる事業」を議会、市民の皆様と共に練り上げていかなければなりません。「報告書」の中でも不安視されているように、行政執行体制が十分とは言えない中、議会、市民の皆様の協力が不可欠となってきます。

引き続き、鈴木市長への厚いご支援、ご協力をいただきますようお願い致します。

※第三者委員会とは、「夕張市の再生方策に関する検討委員会（座長・小西砂千夫関西学院大学教授）。昨年10月、鈴木市長の発案により設置されたもので、約5か月間の議論を経て「財政再建と地域再生の両立に向け、財政再生計画の抜本的見直し」を明記した報告書を4日鈴木市長へ提出していた。

だ

